

メディキット翼付静注針

再使用禁止

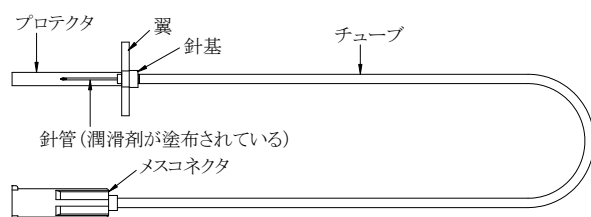
【禁忌・禁止】

<使用方法>

- ・再使用禁止
- ・再滅菌禁止
- ・インジェクタ等による造影剤等の高圧注入に用いないこと。
[破損する可能性がある。]

【形状・構造及び原理等】

<各部の名称>



<材質>

針管	: ステンレス鋼
針基	: ポリ塩化ビニル
翼	: ポリカーボネート
チューブ	: ポリ塩化ビニル [可塑剤:トリメチル酸トリ(2-エチルヘキシル)]
メスコネクタ	: ポリ塩化ビニル
潤滑剤	: シリコーン油

<原理>

本品は、経皮的に静脈を確保し、注射剤等を投与するための器具であり、「JIS T 3222 滅菌済み翼付針」に適合するものである。

<製品仕様>

針管外径	色(翼)
27G(0.4mm)	medium grey

【使用目的又は効果】

本品は、経皮的に静脈を確保し、注射剤等を投与するための器具である。

【使用方法等】

1. 包装を開封し、本品を取り出す。
2. 本品のメスコネクタに、薬液を含んだシリンジを接続し、薬液を針先まで満たしてプライミングする。
3. 翼を保持し、針管のプロテクタを外す。
4. 穿刺部位を消毒し、翼をピンセット等でつまみ、静脈に穿刺する。
5. チューブ内への血液流入により、針先が静脈内にあることを確認する。
その際、接続してあるシリンジを軽く引いて、少し陰圧をかけるとよい。
6. 針管および翼、チューブをテープ等で皮膚面に固定する。
7. メスコネクタに接続していたシリンジの代わりに、輸液セット等を確実に接続し、輸液等を開始する。
8. 輸液等が終了したら、テープ等を外し、穿刺部位より抜針して止血する。

<使用方法等に関連する使用上の注意>

- ・プライミング後は直ちに薬液を投与すること。[薬液が汚染される可能性、又は強アルカリ性の薬剤等においては析出物が生じる可能性がある。]
- ・プロテクタを外すときは、針先がプロテクタ内部に接触しないように注意すること。[針先が変形し、穿刺困難となるおそれがある。]
- ・針管には直接手を触れないこと。[針刺し、感染の可能性ある。]
- ・メスコネクタに輸液セット等を接続するときは、過度な締め付けをしないこと。[接続が外れなくなる可能性がある。]
- ・メスコネクタに輸液セット等を接続するときは、接続部に薬液を付着させないこと。[接続に緩みが生じる可能性がある。]
- ・メスコネクタに輸液セット等を接続するときは、過度な締め付けをしないこと。[接続が外れなくなる可能性がある。]

【使用上の注意】

<重要な基本的注意>

- ・使用中は本品の破損、メスコネクタ接続部の緩み及び薬液漏れ等について、定期的に確認すること。
- ・チューブ及びチューブとの接合箇所には、過度に引っ張る等の負荷を加えないこと。[チューブが破損したり、接合が外れたりする可能性がある。]
- ・針やハサミ等の鋭利物で、チューブに傷をつけないように注意すること。また、チューブを鉗子の根元でクランプしないこと。[チューブが破損する可能性がある。]

【保管方法及び有効期間等】

<保管方法>

水濡れに注意し、直射日光及び高温多湿を避けて保管すること。

<有効期間>

包装の使用期限を参照(自己認証による)

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者: 東郷メディキット株式会社

住所: 〒883-0062 宮崎県日向市大字日知屋字亀川 17148-6

電話番号: 0982-53-8000

販売業者: メディキット株式会社

住所: 〒113-0034 東京都文京区湯島 1 丁目 13 番 2 号

電話番号: 03-3839-0201

